愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	【対面】財務諸表論		
担当者(Instructors)	深谷 和広	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

この授業では簿記の基礎をマスターしたことを前提として授業を進めたいと思います。会計学は大きくは財務会計と管理会計の二つの分野に分類することができます。この授業では大企業の財務会計の分野について学びます。この授業を通じて財務会計の理論と技法を理解し、財務諸表との関係をより深く理解することを目的とします。授業では、固定資産、純資産、負債の三つの分野の会計理論と会計処理を中心に学びます。またできる限り実際の数値を適用し、財務数値の意味を理解できるように進めます。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	授業は講義形式で行う。授業内容を理解する課題を課す。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	会計学を学ぶポイント	会計学の学習のポイントを学ぶ。	□
第2回	純資産の論点（１）	純資産の意味と分類を理解する。	□
第3回	純資産の論点（２）	株式資本の意味と会計処理を理解する。	□
第4回	純資産の論点（３）	剰余金の意味と会計処理を理解する。	□
第5回	純資産の論点（４）	純資産の論点を総合的に理解する。	□
第6回	固定資産の論点（１）	有形固定資産の定義と固定資産会計の概要を理解する。	□
第7回	固定資産の論点（２）	減価償却の意味と会計処理を理解する。	□
第8回	固定資産の論点（３）	減価償却の意味と会計処理を理解する。	□
第9回	固定資産の論点（４）	固定資産の減損会計の意味と会計処理を理解する。	□
第10回	固定資産の論点（５）	有形固定資産の論点を総合的に理解する。	□
第11回	負債の論点（１）	負債の意味と分類を理解する。	□
第12回	負債の論点（２）	社債の意味と会計処理を理解する。	□
第13回	負債の論点（３）	引当金の意味と会計処理を理解する。	□
第14回	負債の論点（４）	負債の論点を総合的に理解する。	□
第15回	まとめ	学習内容を振り返り総括する。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

授業内容を十分にマスターするために事前事後学習を十分に行うことが大切です。事前学習としてテキストの次回の授業内容に該当する箇所を指定し、当日までに2時間程度の学修（読解・要約）を課す。また事後学習として授業中に提示した問いに対し、テキスト・参考書等を参照して2時間程度で自分なりの解答をまとめることを課す。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

(1)提出課題は、添削・採点の上で翌週には返却します。 (2)復習課題は、解説と共に解答例を提示し、全体で理解を共有する機会を持ちます。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)

	◆ 2018地域ビジネスDP2	資産、負債、資本の主要な論点とその意味を理解し、説明することができる 企業経営を社会全体との関連で幅広く思考し、自分の考えを発信できる

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			100%	

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

平常点評価は、毎回授業内容に関する練習問題を課す。また、毎回、事前事後学習の課題を課す。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	「会計学入門〈第5版〉」桜井 久勝著　日本経済新聞出版社	978-4532113957
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		